平成21年度科学研究費補助金実績報告書(研究実績報告書)

1. 機 関 番 号 1 4 6 0 3 2. 研究機関名 <u>奈良先端科学技術大学院大学</u>

3. 研究種目名 特別研究員奨励費 4. 研究期間 平成 21年度 ~ 平成 22年度

5. 課題番号21・10099

6. 研 究 課 題 名 新規磁性半導体コアシェルナノ結晶の合成および光磁気特性の評価

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研究代表者名	所 属 部 局 名	職名
	フリガサ タナカ アツシ 田中 厚	物質創成科学研究科	特別研究員 (DC2)

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名
]	フリカ [*] ナ			
					フリカ゛ナ			
					フリカ゛ナ			
					フリカ [*] ナ			
					フリカ [*] ナ			

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字~800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

EuS(硫化ユーロピウム)は伝導帯と価電子帯の間に縮退したf軌道を有するfcc型の磁性半導体であり、f-d遷移に帰属される光学遷移を示す。この電子遷移が大きな磁気光学効果の発現を誘起することから、光磁気メモリや光通信用アイソレータへの応用が期待されている。これまでEuSのナノサイズ化による特異的な光磁気特性が報告されているが、自己組織化による超格子構造の制御に関しては未だ検討されていない。EuSナノ結晶から形成される超格子構造体は、ナノ結晶間の磁気的相互作用により特異的な光磁気特性が期待できる。本研究では、自己組織化による球状および立方体型EuSナノ結晶の3次元超格子構造の作製を検討した。

EuS ナノ結晶はジチオカルバミド Eu(III)錯体を熱還元することにより合成した。また EuS ナノ結晶の形状制御は熱還元時間等を変化させることで行った。化合物同定は粉末 X 線構造解析(XRD)で行った。得られた EuS ナノ結晶は透過型電子顕微鏡(TEM)測定より平均サイズ4 nm(球状:反応時間 30分)および 14 nm(立方体型: 反応時間 6 時間)であることが分かった。これらの EuS ナノ結晶をトルエンに分散し、トルエン溶媒を大気下・室温で蒸発させることによって EuS ナノ結晶超格子の作製を試みた。TEM 観察の結果、球状および立方体型 EuS ナノ結晶は三次元的に自己集積された超格子構造を形成することが明らかとなった。さらにその構造体を小角 X 線散乱で評価したところ、三次元立方晶系の超格子構造に由来する回折パターンが得られることが分かった。球状 EuS ナノ結晶は立方体型 EuS ナノ結晶とは異なる配列構造を形成することも明らかとなった。磁性半導体 EuS ナノ結晶の三次元超格子構造の形成・制御に成功した。

10. キーワード

(1)	ナノ粒子	(2)	ナノ結晶	(3)	目己組織化	
(4)	希土類	(5)	磁気光学特性	(6)		
(7)		(8)			(裏面に続く)	

	うち査読付論文 計	(3)14			
著 者 名		論	文 標	題	
田中 厚	Crystal Growth ic Crystal Shap	of Nanoscaled bes.	Europium	Selenide Havir	ng Characterist
雑 誌 名		査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の真
Journal of Alloys and	Compounds	有	488	2 0 0 9	538-540
著者名	Т	論	文 標	題	
田中 厚	Self-aggreg	gation of magne	etic semicon	ductor EuS na	nocrystals.
 雑 誌 名	- 	査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の真
Thin Solid Film	ns	有	518		870-872
著 者 名	T	論	文 標	題	
田中厚		and Enhanced Notice Comp	Magnetic Pro	perties of Thr	
雑 誌 名	1	査読の有無	巻	発 行 年	最初と最後の夏
Chemistry of Mat	erials	有	22	2 0 1 0	1776-1781
[学会発表] 計(1)件 発表者名 田中厚		0) 件発滋性半導体ナノ結	表 標 晶EuSの会合	題 状態制御	
		発表年	E月日	発	表場所
第62回コロイドおよび界面化		2009年9月17日 岡山理科大キャンパ			
〔図書〕計(0)件		•		•	
著 者 名			出版社		
著者名	基 名		出版社	路 行 年	総ページ数
著者名	書名		出版社	発行年	総ページ数
著 者 名 2. 研究成果による産業財産権の出版 [出 願] 計(0)件 産業財産権の名称 発明:	類・取得状況	産業財産権の		· · ·	
2. 研究成果による産業財産権の出版 【出 願】 計(0)件	額・取得状況 者 権利者	産業財産権の	種類、番号	111	総ページ数 国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること

	ること。
ı	